

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	UプロセスⅡ			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日	～	2026年 3月 6日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)	41
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日	～	2026年 3月 6日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心感を持って、楽しく通うことができている	事業所内の雰囲気は明るく、楽しくなるよう心掛けている。子どもたちが「やってみよう」と思えるようなプログラムをスモールステップで考え、保護者の皆さまとも『できた』とともに積み重ねていけるよう工夫している。	「子どもたちから教わる」ことをこれからも大切に、子どもたちから意見が出た活動なども積極的に取り入れていく。 たくさん『褒める』ことを意識し、すべての子どもたちにとって安心して過ごせる場所の1つとなるよう工夫していく。
2	子どもや保護者の皆さまが話しやすい関係作りや連絡が取りやすい環境を作ることができている	日頃から話しやすい雰囲気作り、関係作りを意識している。子どもと同じ目線に立ったり、まずは一緒に楽しむことを大切にしている点が繋がっているように感じる。	引き続き、謙虚に丁寧に子どもや保護者の皆さまとコミュニケーションを取るよう心掛ける。 こまめに保護者の皆さまとも連絡を取り合い、子どもたちの様子も共有していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各マニュアルなどの説明や避難訓練の実施状況の説明が不十分だった	非常災害時の避難場所や方法について共通認識を図り、訓練を実施しているが、保護者さまへのお伝えが不十分だった。 各マニュアルについても作成していることを、契約時には説明するが、わかりやすいものではなかったように感じる。	避難訓練を実施する前後で子どもや保護者に情報共有を行う。広報誌やSNSでも発信をしていく。 各マニュアルについては、保護者の方も見ていただきやすいよう、周知の仕方を工夫する。
2	保護者の皆さまに対して、育児に関するアドバイスや専門的な視点での発達状況や課題の共有が不十分な点がある	事業所スタッフの知識や経験が不足しており、子どもたちから教わりながら力をつけていく必要がある。また面談の実施は、半年に1度の個別支援計画時の見直しのとときのみの場合が多く、送迎時や電話などで子どもの様子をお伝えしているつもりだったが、不十分だった。	研修に参加をしたり、講師の先生から助言をいただき、知識をつけ、実践しながら経験を積んでいく。 また、個別支援計画見直しのタイミングだけではなく、保護者と情報共有ができる機会を増やしていく。
3			